

てんしば植栽コラム

平成30年11月21日

オーバーシード（冬芝の種播き）その②



↑トゲトゲドラムを引っ張ってます



↑種播きの後は水やりを



←散布機で種まき中



種播きのあとはブラッシング



↑目砂の敷き均しの様子

前回に引き続きオーバーシードです。今回は、どうやって種の状態から芝を根付かせるか？

『てんしばでの』作業方法について簡単にご紹介したいと思います。

- ①スパイクング・・・芝が根付く為には柔らかい土壌が必要になるため、トゲトゲのついたドラムや専用の機械を使い穴をあけ、地盤をほぐしてあげます。開けた穴に芝の種が入り根を伸ばしやすい環境を作ります。
- ②種播き・・・・・・ 芝の種が均等に播かれるよう散布機を用いて丁寧に播きます。公園やゴルフ場など様々な場所で、用途により芝の種類を変えます。利用人数により播種散布量を微妙に変えています。ブラッシングで馴染ませます。
- ③目砂撒き・・・・ 発芽には温度が必要です。砂の表層を作ることで、保温効果が期待できます。表面の凸凹を修正し、古い枯葉(サッチ)を分解する役目もあります。トゲトゲドラムで空いた穴を埋めます。
- ④水やり・・・・・・ 種に水をあげることで発芽準備をさせてあげます。水分は人間も植物も大切です。

おおまかにはこのような工程を経て種播きをします。他にも色々細かい作業はあるのですが。。

(肥料を撒いてあげたり、種を食べにくる鳥対策を施したり等々)

「あの人らいつつも何しとん？」から少しでも「そーなんや」になって頂けたら幸いです。

※ご注意※

芝生広場の天王寺動物園側にはアメリカフウの木が植栽されています。この時期、写真のような実が結実します。素手で触るとすこしチクチクして痛いですが、かわいい実です。4月頃茶色くなりいっせいに落ち始めます。この実でクリスマスツリーやリーフのオーナメントとして利用できますよ。



植栽管理スタッフ

オーバーシードのためご利用頂ける芝生広場が狭くなっています。早く皆さまにご利用頂けるよう日々頑張ります！！

綾城